

「基本的考え方」と「基本計画（案）」の構成比較表

新たな計画の基本的考え方	基本計画（案）
<p>第1章 総説</p> <p>1 計画策定の意義</p> <p>2 計画の性格</p> <p>3 計画の期間</p> <p>4 計画の目標</p> <p>第2章 基本方向</p> <p>1 基本的課題</p> <p>（1）時代潮流</p> <p>（2）地域特性</p> <p>（3）基本的課題</p> <p>2 基本的指針</p> <p>（1）自立</p> <p>（2）交流</p> <p>（3）貢献</p> <p>3 計画の展望値</p> <p>4 施策展開の基軸的な考え</p> <p>（1）日本と世界の架け橋となる沖縄型自立経済の構築</p> <p>（2）沖縄らしい優しい社会の構築</p>	<p>第1章 総説</p> <p>1 計画策定の意義</p> <p>2 計画の性格</p> <p>3 計画の期間</p> <p>4 計画の目標</p> <p>第2章 基本方向</p> <p>1 基本的課題</p> <p>（1）時代潮流</p> <p>（2）地域特性</p> <p>（3）基本的課題</p> <p>2 基本的指針</p> <p>（1）自立</p> <p>（2）交流</p> <p>（3）貢献</p> <p>3 施策展開の基軸的な考え</p> <p>（1）潤いと活力をもたらす沖縄らしい優しい社会の構築</p> <p>（2）日本と世界の架け橋となる強くなやかな自立型経済の構築</p> <p>4 将来像の実現と固有課題の克服に向けた施策展開の基本方向</p> <p>（1）豊かな自然環境の保全と薫り高い文化の継承</p> <p>（2）ともに支え合い健康で生き生きと暮らせる社会の実現</p> <p>（3）穏やかで安全な社会の構築と快適で質の高い生活空間の創造</p> <p>（4）21世紀「万国津梁」実現の基盤づくり</p> <p>（5）リ・ディグ産業と地場産業が好循環構造をもつ経済の構築</p> <p>（6）基地返還跡地の活用等による県土構造の再編</p> <p>（7）離島の定住条件向上等による持続可能な地域社会の形成</p> <p>（8）将来像実現の原動力となる人づくり</p> <p>5 計画の展望値 ～人口及び社会経済の見通し～</p>
<p>第3章 基本施策</p> <p>1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して</p> <p>（1）自然環境の保全・再生・適正利用</p> <p>ア 生物多様性の保全</p> <p>イ 陸域・水辺環境の保全</p> <p>ウ 自然環境の再生</p> <p>エ 自然環境の適正利用</p> <p>オ 県民参画と環境教育の推進</p> <p>（2）持続可能な循環型社会の構築</p> <p>ア 3Rの推進</p> <p>イ 適正処理の推進</p>	<p>第3章 基本施策</p> <p>1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して</p> <p>【将来像実現への道筋】</p> <p>（1）自然環境の保全・再生・適正利用</p> <p>【基本施策の展開方向】</p> <p>【施策展開】</p> <p>ア 生物多様性の保全</p> <p>イ 陸域・水辺環境の保全</p> <p>ウ 自然環境の再生</p> <p>エ 自然環境の適正利用</p> <p>オ 県民参画と環境教育の推進</p> <p>（2）持続可能な循環型社会の構築</p> <p>【基本施策の展開方向】</p> <p>【施策展開】</p> <p>ア 3Rの推進</p> <p>イ 適正処理の推進</p>

(3) 低炭素島しょ社会の実現

- ア 地球温暖化防止対策の推進
- イ クリーンエネルギーの推進
- ウ 低炭素都市づくりの推進

(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造

- ア 沖縄文化の源を確認できる環境づくり
- イ 文化の担い手の育成
- ウ 文化活動を支える基盤の形成
- エ 文化の発信・交流

(5) 文化産業の戦略的な創出・育成

- ア 文化資源を活用したまちづくり
- イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興
- ウ 文化コンテンツ産業の振興

(6) 価値創造のまちづくり

- ア 沖縄らしい風景づくり・まちづくり
- イ 花と緑あふれる県土の形成

(7) 人間優先のまちづくり

- ア まちづくりにおけるユニバーサルデザインの推進
- イ 歩いて暮らせる環境づくりの推進
- ウ 人に優しい交通手段の確保

2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して

(1) 健康・長寿おきなわの推進

- ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進
- イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

(2) 子育てセーフティネットの充実

- ア 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり

(3) 健康福祉セーフティネットの充実

- ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり
- イ 障害のある人が活動できる環境づくり
- ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進
- エ 福祉セーフティネットの形成
- オ 保健衛生の推進

(4) 社会リスクセーフティネットの確立

- ア 安全・安心に暮らせる地域づくり
- イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化

(5) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決

- ア 米軍基地から派生する諸問題への対応
- イ 戦後処理問題の解決

(3) 低炭素島しょ社会の実現

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 地球温暖化防止対策の推進
- イ クリーンエネルギーの推進
- ウ 低炭素都市づくりの推進

(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 沖縄文化の源を確認できる環境づくり
- イ 文化の担い手の育成
- ウ 文化活動を支える基盤の形成
- エ 文化の発信・交流

(5) 文化産業の戦略的な創出・育成

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 文化資源を活用したまちづくり
- イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興
- ウ 文化コンテンツ産業の振興

(6) 価値創造のまちづくり

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 沖縄らしい風景・まちづくり
- イ 花と緑あふれる県土の形成

(7) 人間優先のまちづくり

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア まちづくりにおけるユニバーサルデザインの推進
- イ 歩いて暮らせる環境づくりの推進
- ウ 人に優しい交通手段の確保

2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して

【将来像実現への道筋】

(1) 健康・長寿おきなわの推進

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進
- イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

(2) 子育てセーフティネットの充実

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり

(3) 健康福祉セーフティネットの充実

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり
- イ 障害のある人が活動できる環境づくり
- ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進
- エ 福祉セーフティネットの形成
- オ 保健衛生の推進

(4) 社会リスクセーフティネットの確立

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 安全・安心に暮らせる地域づくり
- イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化

(5) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 米軍基地から派生する諸問題への対応
- イ 戦後処理問題の解決

- (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
 - ア 地域特性に応じた生活基盤の整備
 - イ 高度情報通信ネットワーク社会に対応した行政サービスの提供

- (7) 共助・共創型地域づくりの推進
 - ア 地域コミュニティの再生と社会参加活動の推進
 - イ 交流と共創による農山漁村の活性化

3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して

- (1) 沖縄型自立経済の構築に向けた基盤の整備
 - ア 国際交流・物流の核となる空港の整備
 - イ 人流・物流を支える港湾の整備
 - ウ 陸上交通基盤の整備
 - エ 国際ネットワークの構築、人流・物流コストの低減及び物流対策強化

- (2) 世界水準の観光リゾート地の形成
 - ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
 - イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
 - ウ 観光客の受入体制の整備
 - エ 世界に適用する観光人材の育成
 - オ 産業間連携の強化

- (3) 情報通信関連産業の高度化・多様化
 - ア 情報通信関連産業の立地促進
 - イ 県内立地企業の高度化・活性化
 - ウ 人材の育成・確保
 - エ 情報通信基盤の整備

- (4) アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成
 - ア 臨空・臨港型産業の集積による国際交流拠点の形成促進
 - イ 県内事業者等による海外展開の促進

- (5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
 - ア 研究開発・交流の基盤づくり
 - イ 知的・産業クラスター形成の推進
 - ウ 研究開発成果の技術移転による地場産業の高度化
 - エ 科学技術を担う人づくり

- (6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
 - ア 文化、スポーツ等、多様な地域資源を活用した新産業の創出
 - イ 環境関連産業の戦略的展開
 - ウ 金融関連産業の集積促進

- (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 地域特性に応じた生活基盤の整備
 - イ 高度情報通信ネットワーク社会に対応した行政サービスの提供

- (7) 共助・共創型地域づくりの推進
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進
 - イ 交流と共創による農山漁村の活性化

3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して
【将来像実現への道筋】

- (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 国際交流・物流の核となる空港の整備
 - イ 人流・物流を支える港湾の整備
 - ウ 陸上交通基盤の整備
 - エ 国際ネットワークの構築、移動・輸送コストの低減及び物流対策強化

- (2) 世界水準の観光リゾート地の形成
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
 - イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
 - ウ 観光客の受入体制の整備
 - エ 世界に適用する観光人材の育成
 - オ 産業間連携の強化

- (3) 情報通信関連産業の高度化・多様化
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 情報通信関連産業の立地促進
 - イ 県内立地企業の高度化・活性化
 - ウ 人材の育成・確保
 - エ 情報通信基盤の整備

- (4) アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 臨空・臨港型産業の集積による国際交流拠点の形成促進
 - イ 県内事業者等による海外展開の促進

- (5) 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 研究開発・交流の基盤づくり
 - イ 知的・産業クラスター形成の推進
 - ウ 研究開発成果の技術移転による地場産業の高度化
 - エ 科学技術を担う人づくり

- (6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
 - 【基本施策の展開方向】
 - 【施策展開】
 - ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出
 - イ 環境関連産業の戦略的展開
 - ウ 海洋資源調査・開発の支援拠点形成
 - エ 金融関連産業の集積促進

(7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興

- ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
- イ 流通・販売・加工対策の強化
- ウ 農林水産物の安全・安心の確立
- エ 農林水産業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化
- オ 農林水産技術の開発と普及
- カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
- キ フロンティア型農林水産業の振興

(8) 地域を支える中小企業等の振興

- ア 中小企業等の総合支援の推進
- イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
- ウ 建設産業の活性化と新分野・新市場の開拓

(9) ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成

- ア ものづくり産業の戦略的展開
- イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
- ウ 安定した工業用水・地下資源・エネルギー等の提供

(10) 雇用対策と多様な人材の確保

- ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援
- イ 若年者の雇用促進
- ウ 職業能力の開発
- エ 働きやすい環境づくり
- オ 駐留軍等労働者の雇用対策の推進
- カ 沖縄県産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)の推進

(11) 離島における定住条件の整備

- ア 交通・生活コストの低減
- イ 生活環境基盤整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
- ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化
- エ 過疎・辺地地域の振興

(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開

- ア 観光リゾート産業の振興
- イ 農林水産業の振興
- ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化
- エ 離島を支える多様な人材の育成
- オ 交流と貢献による離島の新たな振興

(13) 駐留軍用地跡地の利用促進

- ア 早期の跡地利用計画の策定
- イ 中南部都市圏広域跡地の指定と事業実施主体の確立
- ウ 駐留軍用地跡地と周辺市街地との一体的な整備
- エ 産業振興地区の創出
- オ 跡地における風景づくりの推進
- カ 返還跡地国家プロジェクトの導入
- キ 新たな調整機関の設置

(14) 政策金融の活用

(7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
- イ 流通・販売・加工対策の強化
- ウ 農林水産物の安全・安心の確立
- エ 農林水産業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化
- オ 農林水産技術の開発と普及
- カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
- キ フロンティア型農林水産業の振興

(8) 地域を支える中小企業等の振興

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 中小企業等の総合支援の推進
- イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
- ウ 建設産業の活性化と新分野・新市場の開拓

(9) ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア ものづくり産業の戦略的展開
- イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
- ウ 安定した工業用水・エネルギーの提供

(10) 雇用対策と多様な人材の確保

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 雇用機会の創出・拡大と求職者支援
- イ 若年者の雇用促進
- ウ 職業能力の開発
- エ 働きやすい環境づくり
- オ 駐留軍等労働者の雇用対策の推進
- カ 沖縄県産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)の推進

(11) 離島における定住条件の整備

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 交通・生活コストの低減
- イ 生活環境基盤整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
- ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化
- エ 過疎・辺地地域の振興

(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 観光リゾート産業の振興
- イ 農林水産業の振興
- ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化
- エ 離島を支える多様な人材の育成
- オ 交流と貢献による離島の新たな振興

(13) 駐留軍用地跡地の利用促進

【基本施策の展開方向】

【施策展開】

- ア 早期の跡地利用計画の策定
- イ 中南部都市圏広域跡地の指定と事業実施主体の確立
- ウ 駐留軍用地跡地と周辺市街地との一体的な整備
- エ 産業振興地区の創出
- オ 跡地における風景づくりの推進
- カ 返還跡地国家プロジェクトの導入
- キ 新たな調整機関の設置

(14) 政策金融の活用

【基本施策の展開方向】

4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して

(1) 世界との交流ネットワークの形成

- ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進
- イ 世界と共生する社会の形成
- ウ 国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備

(2) 国際協力・貢献活動の推進

- ア アジア・太平洋地域の共通課題に対する情報発信、技術移転、人材育成、共同研究等の推進
- イ 国際的な災害援助拠点の形成
- ウ 国益に資する平和協力外交の展開

5 多様な能力を發揮し、未来を拓く島を目指して

(1) 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進

- ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
- イ 家庭・地域の教育機能の充実

(2) 公平な教育機会の享受に向けた環境整備

- ア 教育機会の拡充
- イ 生涯学習社会の実現

(3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実

- ア 確かな学力を身につける教育の推進
- イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
- ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進

(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築

- ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
- イ 能力を引き出し、感性を磨く教育の推進
- ウ 優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進

(5) 産業振興を担う人材の育成

- ア リーディング産業を担う人材の育成
- イ 地域産業を担う人材の育成
- ウ 新たな産業を担う人材の育成

(6) 地域社会を支える人材の育成

- ア 県民生活を支える人材の育成
- イ 地域づくりを担う人材の育成

第4章 固有課題

1 基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用

- (1) 概況
- (2) 克服の意義
- (3) 解決への道筋

2 離島の条件不利性克服と国益貢献

- (1) 概況
- (2) 克服の意義
- (3) 解決への道筋

4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して

【将来像実現への道筋】

(1) 世界との交流ネットワークの形成

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進
- イ 世界と共生する社会の形成
- ウ 国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備

(2) 国際協力・貢献活動の推進

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア アジア・太平洋地域の共通課題に対する技術協力等の推進
- イ 国際的な災害援助拠点の形成
- ウ 国益に資する平和協力外交の展開

5 多様な能力を發揮し、未来を拓く島を目指して

【将来像実現への道筋】

(1) 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
- イ 家庭・地域の教育機能の充実

(2) 公平な教育機会の享受に向けた環境整備

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア 教育機会の拡充
- イ 生涯学習社会の実現

(3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア 確かな学力を身につける教育の推進
- イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
- ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進

(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
- イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進
- ウ 優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進

(5) 産業振興を担う人材の育成

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア リーディング産業を担う人材の育成
- イ 地域産業を担う人材の育成
- ウ 新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成

(6) 地域社会を支える人材の育成

- 【基本施策の展開方向】
- 【施策展開】
- ア 県民生活を支える人材の育成
- イ 地域づくりを担う人材の育成

第4章 固有課題

1 基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用

- (1) 概況
- (2) 克服の意義
- (3) 解決への道筋

2 離島の条件不利性克服と国益貢献

- (1) 概況
- (2) 克服の意義
- (3) 解決への道筋

- 3 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築
 (1) 概況
 (2) 克服の意義
 (3) 解決への道筋

- 4 地方自治拡大への対応
 (1) 概況
 (2) 克服の意義
 (3) 解決への道筋

第5章 圏域別展開

- 1 圏域づくりの基本的な考え
 (1) 自然、歴史、伝統、文化など固有の特性を生かした個性豊かな地域づくり
 (2) 多様な主体間の連携と交流、協働により安心して住み続けることができる地域づくり
 (3) 主体性・自立性を基軸とする地域づくり

2 圏域別展開の基本方向

(1) 北部圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 環境共生型社会の構築
- イ 沖縄型産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 農林水産業の振興
 - (ウ) 次世代に向けた地域リーディング産業の振興
 - (エ) 商工業の振興
- ウ 生活圏の充実
 - (ア) 交通及び物流基盤の整備
 - (イ) 生活環境基盤等の整備
 - (ウ) 保健医療・福祉関連機能の充実
 - (エ) 教育機会の確保等
- エ 駐留軍用地跡地利用の促進
- オ 国際交流等の推進

(2) 中・南部圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成
 - (ア) 県土構造の核となる基幹都市圏の形成
 - (イ) 人的・物的な交流拠点機能の強化
 - (ウ) 南部都市圏の機能高度化
 - (エ) 中部都市圏の機能高度化
- イ 沖縄型産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 情報通信関連産業の振興
 - (ウ) 臨空・臨港型産業等の振興
 - (エ) 農林水産業の振興
 - (オ) 沖縄型創造産業（文化産業）の振興
- ウ 国際交流・貢献等の推進
- エ 駐留軍用地跡地の利用促進

- 3 海洋島しょ圏 沖縄を結ぶ交通ネットワークの構築
 (1) 概況
 (2) 克服の意義
 (3) 解決への道筋

- 4 地方自治拡大への対応
 (1) 概況
 (2) 克服の意義
 (3) 解決への道筋

第5章 圏域別展開

- 1 圏域づくりの基本的な考え
 (1) 自然、歴史、伝統、文化など固有の特性を生かした個性豊かな地域づくり
 (2) 多様な主体間の連携と交流、協働により安心して住み続けることができる地域づくり
 (3) 主体性・自立性を基軸とする地域づくり

2 圏域間連携の強化による広域的地域圏の形成

3 圏域別展開の基本方向

(1) 北部圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 環境共生型社会の構築
- イ 圏域の特色を生かした産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 農林水産業の振興
 - (ウ) 地域リーディング産業の振興
 - (エ) 商工業の振興
- ウ 生活圏の充実
 - (ア) 交通及び物流基盤の整備
 - (イ) 生活環境基盤等の整備
 - (ウ) 保健医療・福祉関連機能の充実
 - (エ) 教育機会の確保等
- エ 駐留軍用地跡地利用の促進
- オ 国際交流等の推進

(2) 中部圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成
 - (ア) 人的・物的交流拠点の機能強化
 - (イ) 中部都市圏の機能高度化
- イ 圏域の特色を生かした産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 情報通信関連産業等の振興
 - (ウ) 臨空・臨港型産業等の振興
 - (エ) 農林水産業の振興
 - (オ) 沖縄型創造産業（文化産業）の振興
- ウ 国際交流・貢献等の推進
- エ 駐留軍用地跡地の利用促進

(3) 南部圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成
 - (ア) 人的・物的交流拠点の機能強化
 - (イ) 南部都市圏の機能高度化
- イ 圏域の特色を生かした産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 情報通信関連産業等の振興
 - (ウ) 臨空・臨港型産業等の振興
 - (エ) 農林水産業の振興
 - (オ) 沖縄型創造産業（文化産業）の振興
- ウ 国際交流・貢献等の推進
- エ 駐留軍用地跡地の利用促進

(3) 宮古・八重山圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 資源循環型社会の構築
- イ 拠点都市機能の充実
- ウ 沖縄型産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 農林水産業の振興
- エ 生活圏の充実
 - (ア) 生活環境基盤等の整備
 - (イ) 保健医療・福祉関連機能の充実
 - (ウ) 公平な教育機会の確保
- オ 国際交流等の推進

(4) 宮古圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 資源循環型社会の構築
- イ 拠点都市機能の充実
- ウ 圏域の特色を生かした産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 農林水産業の振興
- エ 生活圏の充実
 - (ア) 生活環境基盤等の整備
 - (イ) 保健医療・福祉関連機能の充実
 - (ウ) 公平な教育機会の確保
- オ 国際交流等の推進

(5) 八重山圏域

【主な特性】

【現状と課題】

【展開の基本方向】

- ア 拠点都市機能の充実
- イ 圏域の特色を生かした産業の振興
 - (ア) 観光リゾート関連産業の振興
 - (イ) 農林水産業の振興
- ウ 生活圏の充実
 - (ア) 生活環境基盤等の整備
 - (イ) 保健医療・福祉関連機能の充実
 - (ウ) 公平な教育機会の確保
- エ 資源循環型社会の構築
- オ 国際交流等の推進

第6章 計画の効果的な実現

- 1 新たな沖縄振興に関する法律と本計画の関係
- 2 計画の実施方法等
 - (1) 実施計画の策定
 - (2) 計画の進捗管理等
 - (3) 効率的で効果的な県政の推進
 - ア 持続力ある財政基盤の確立
 - イ 役割分担の明確化と協働体制の構築
 - ウ 職員と行政組織の活性化

第6章 計画の効果的な実現

- 1 新たな沖縄振興に関する法律と本計画の関係
- 2 計画の実施方法等
 - (1) 実施計画の策定
 - (2) 計画の進捗管理等
 - (3) 効率的で効果的な県政の推進
 - ア 持続力ある財政基盤の確立
 - イ 役割分担の明確化と協働体制の構築
 - ウ 職員と行政組織の活性化